S1000RR’19～ ライディングステップキットについて

この度はアエラ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の取り付けには重要保安部品周りの作業を含みますので、専門の知識・技術を持たれる方に作業を依頼して下さい。

AE-10091/10092
参考作業時間：1h

AE-10091（ストリート）

ステップベースの取り付け位置（純正比）

・前上：10mm前、10mm上　・後上：10mm上
・前中：10mm前　・後中：純正位置
・前下：10mm前、10mm下　・後下：10mm下

※出荷時設定置：前下
※チェンジ側はステップバー取付位置にて前後調整
※締め付けトルク：18Nm
※ロックタイト243（中強度）相当推奨

AE-10092（スポーツ）

ステップベースの取り付け位置（純正比）

・前上：20mm上　・後上：20mm上、10mm後
・前中：10mm上　・後中：10mm上、10mm後
・前下：純正位置　・後下：10mm後

※出荷時設定置：前下
※チェンジ側はステップバー取付位置にて前後調整
※締め付けトルク：18Nm
※ロックタイト243（中強度）相当推奨



チェンジペダル高さ調整
・ペダルを固定している2本のボルトを緩め、高さを調整する事が出来ます。
調整幅については組み付け要項②をご参照下さい。
※ロックタイト243（中強度）相当推奨



ステップバー取付位置変更
・ステップバー取り付けボルトを外し、ステップバー偏心カラーを180度回転させもう一方のネジ穴を使用する事でポジションを10mm前後させる事が出来ます。
※ロックタイト243（中強度）相当推奨



ペダル先位置変更
・ペダル先を任意の位置にスライドさせることで、ペダルとステップバーとの距離を調整する事が出来ます。
※ロックタイト243（中強度）相当推奨

取り付けにあたってのご注意

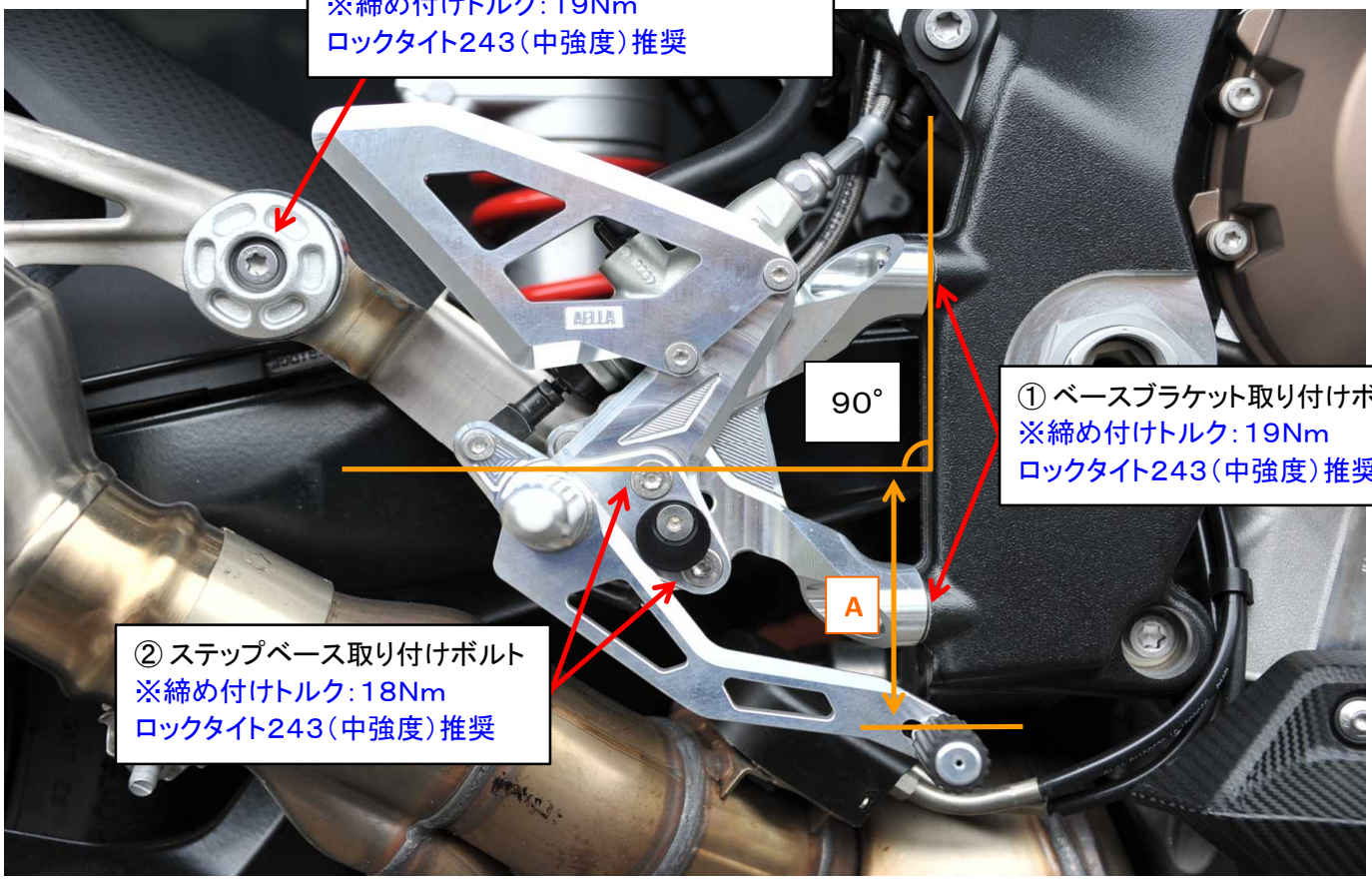
・走行直後は、各パーツが熱くなり火傷の危険性があります、必ず冷えている状態で作業を行って下さい。
・作業は必ず安全な場所で車体を安定させ、十分注意して作業を行って下さい。
・メンテナンス不良、取り付け作業上の不備、誤った使用での保証は致しません。
・本製品の取り付け後の返品はお受けできません。
・金属部品のエッジ、角などには注意して下さい。
・部品の曲がり、変形などが発生した場合は速やかに補修を行って下さい。
・組み付け作業を行う際はメーカー発行のサービスマニュアル（整備要領書）を熟読し各部の締め付けトルクを守って下さい。
※締め付け参考トルクはネジが緩まない事を保証するものではありません。
※取り付け後、走行中の振動によって必ずネジは緩みます定期的に点検、増し締めを行って下さい。
※何か問題が発生した場合は、速やかに使用を中止し、カスノモーターサイクル　アエラ事業部までご連絡下さい。

S1000RR’19～ ライディングステップキット組み付け要項 ①

AELLA

※作業時は平坦な場所でメンテナンススタンドを使用して下さい。
※サイレンサーハンガーは付属しておりません。必要に応じてお買い求め下さい。

【A】 右（ブレーキ）側



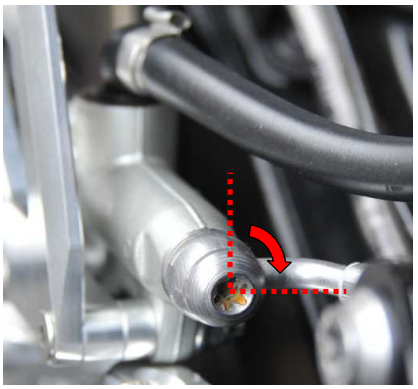
1）純正のステップ一式を取り外し、マスターシリンダー、プッシュロッド、マフラー固定部品一式を取り外して下さい。
※カバー等で傷がつかない様に保護してから作業して下さい。
※ベースブラケット取り付けボルト、純正サイレンサーハンガーのラバー・スリーブ・カラー・固定ボルトは再使用します。

2）弊社サイレンサーハンガーに取り外した純正のラバー・スリーブをはめ込み、ベースブラケットRに取り付けて下さい。
※ロックタイト243（中強度）推奨。

3）上図①→③の順にボルトを締め込み取り付けて下さい。

4）取り外したプッシュロッドを本製品ブレーキペダルに取り付けた後、マスターシリンダーへ差し込み、ステップベースRを任意の位置に取り付け、上図②のボルトを締め込んで下さい。

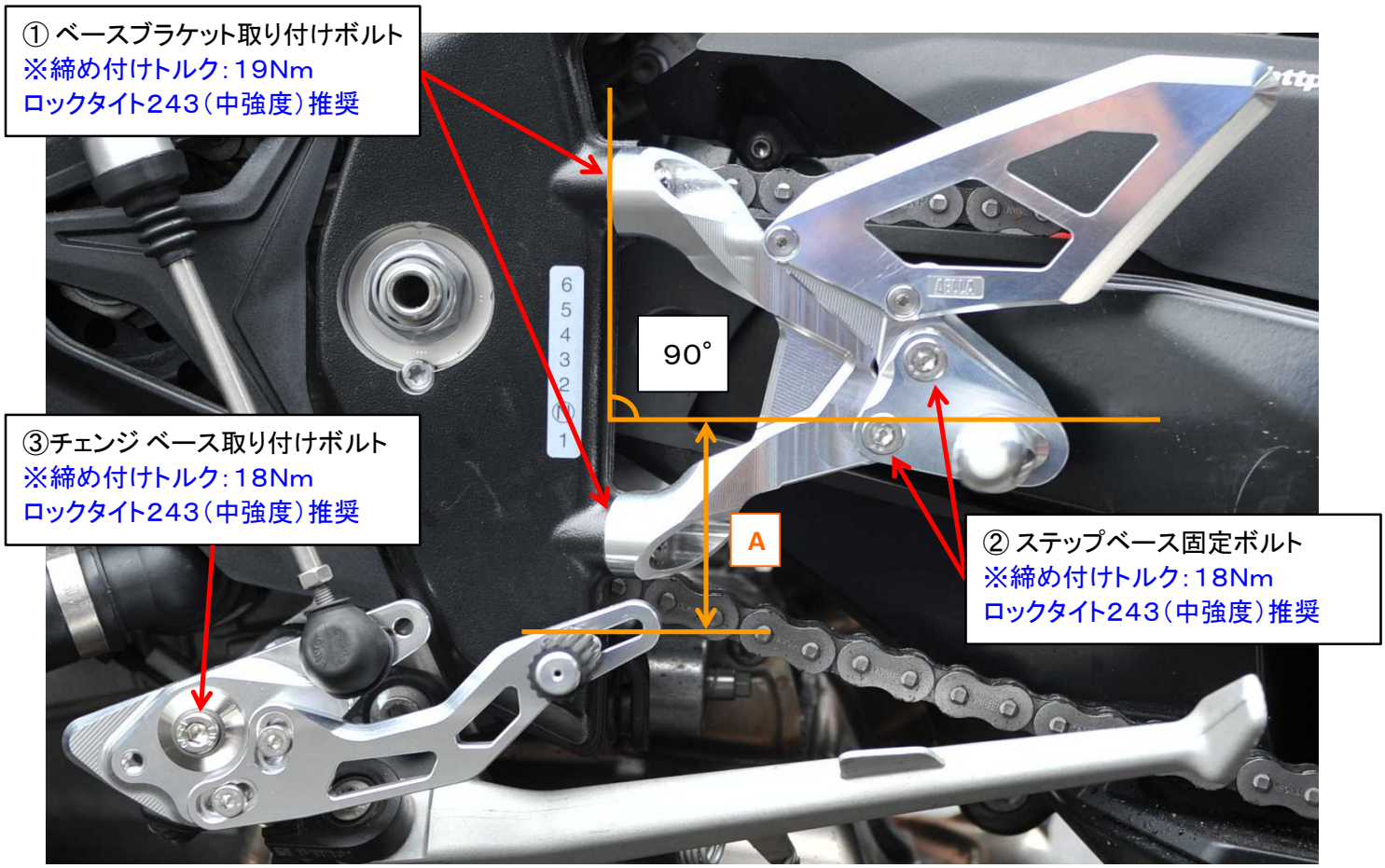
5）ヒールガードRをマスターシリンダーと共に固定して下さい。
※バンジョーボルトをわずかに緩めて無理の無い角度に調整して下さい。右図参照
※ブレーキフルードが車体に付かない様に養生したうえで作業して下さい。
また、取り付け走行後ににじみが無いか再度確認して下さい。
車体に付着した際はすぐに大量の水で洗い流して下さい。



6）ペダル先の高さをペダルストッパーを回転させて調整してから固定して下さい。
※ロックタイト243（中強度）推奨。
※上図【A】参照：ペダルの調整幅は60～80mmの範囲で設定して下さい。

7）プッシュロッドの長さを調整して、ブレーキの遊びを調整して下さい。
※遊びの量が適切でないと、ブレーキのロックやエア噛みの原因となります。

【B】 左（クラッチ）側



1）純正のステップとシフトロッド下部のピボットボルトを緩めチェンジペダルを取り外して下さい。

2）ベースブラケットLを取り付けて上図①の純正ボルトを締め込んで下さい。

3）ステップベースLを任意の位置に取り付け上図②のボルトを締め込んで下さい。

4）ヒールガードLを取り付けて下さい。※ロックタイト243（中強度）推奨

5）チェンジベースを取り付け上図③のボルトを締め込んで下さい。
※逆チェンジで使用する場合はチェンジベースを裏返して取り付けて下さい。上図は正チェンジ仕様です。

6）純正のシフトロッドをチェンジベースに取り付けて下さい。
取り付け位置に関しましては組み付け要項③をご参照下さい。

7）チェンジペダルを固定している2本のボルトを緩め、ペダルの高さの調整を行って下さい。
※ペダルの調整幅はブレーキ側と同様、60～80mmの範囲で設定して下さい。
範囲外でご使用になられたい場合は、ペダルを調整した後、更にシフトロッド側下部を回転させ調整して下さい。
シフトロッド上部のナットは緩めないで下さい。

S1000RR’19～ ライディングステップキット組み付け要項 ③

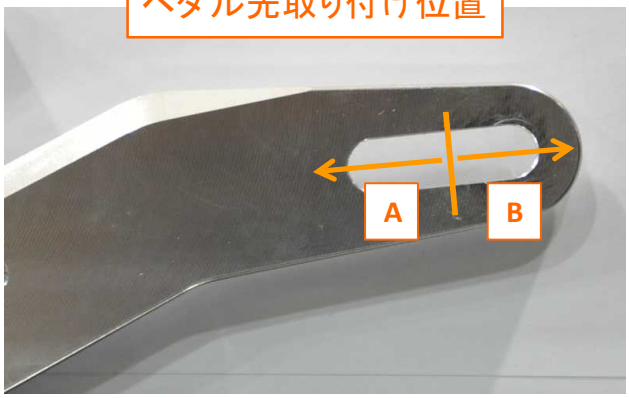
正チェンジ



逆チェンジ



ペダル先取り付け位置



	A	B
AE-10091 ストリート仕様	①	②
AE-10092 スポーツ仕様	③	④

ご使用のチェンジペダルの仕様とペダル先の取り付け位置（中心よりどちら寄りか）に応じてシフトロッドの締結位置（上図①～④）を決めて下さい。
※ストリート仕様では①②、スポーツ仕様では③④のどちらかの穴での取り付けになります。
出荷時はAで固定済みです。ペダル先の位置を変更しない場合はAE-10091（ストリート）では①
AE-10092（スポーツ）では③でチェンジベースに取り付けて下さい。

〇取り付け後、ブレーキ及びストップランプの作動や各部の干渉、締め忘れが無いかなどの確認を行ってください。

※初回を含め、定期的に動作やネジの緩みなどを点検し、必要に応じて増し締めや調整を行ってください。
※何か問題が発生した場合は、速やかに使用を中止し弊社までご連絡下さい。

アルマイト製品について

・アルミニウムの表面を電気化学的に酸化させ、皮膜を生成させたものです。
・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。 また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品、洗剤などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
・アルマイト厚みは、0．005mm～0．02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や
乗車時にブーツが擦れる箇所で摩耗し下地のアルミ表面が現れます。
・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分（接点）には色が付かない場合があります。

以上はアルマイト処理の性質で避けられない為、クレーム対象にはなりません。予めご了承下さい。